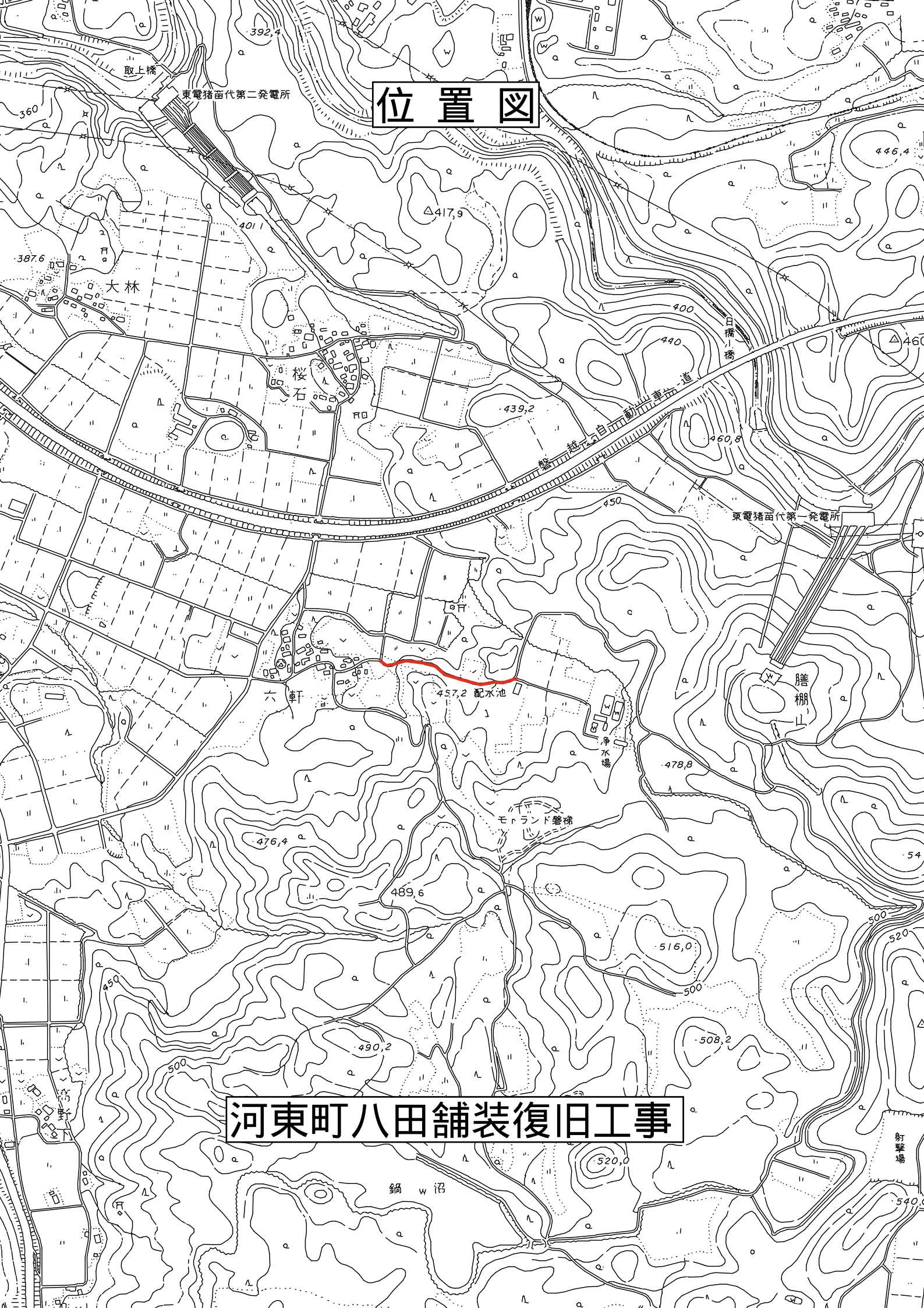


# 位置図



## 河東町八田舗装復旧工事

月単位の週休2日工事（発注者指定）  
情報共有システム活用工事  
熱中症対策対象工事

工 事 設 計 書 （ 金 抜 ）	
工 事 番 号	令 和 7 年 度 第 131 号
工 事 名	河東町八田舗装復旧工事
路 線 名	市道幹Ⅱ-34号線
工 事 箇 所	会津若松市河東町八田 地内
工 種	舗装

工事概要	当初	
工事日数	103日	
舗装復旧工	A=1,304.5㎡	

起 工 理 由	本箇所は、既設配水管の更新計画に基づき本書のとおり舗装本復旧を施工するものです。
仕 様	特記仕様書によること。
摘 要	<ul style="list-style-type: none"><li>・会津若松市上下水道局元請・下請関係適正化指導要綱を遵守すること。また、工事内容の変更又は請負代金の変更があった場合、受注者である元請負人においては、変更等の経緯を踏まえた適正な対応が求められることについて留意すること。</li><li>・会津若松市発注工事等からの暴力団等排除措置要綱を遵守すること。</li><li>・不測の事故に適切に対応できるよう、請負業者賠償責任保険に加入していること。（契約時に加入していれば可。）その証券の写しを遅滞なく提出すること。</li><li>・請負金額が500万円以上の場合はCORINS（コリンズ）に登録すること。</li><li>・工事用資材等の購入・調達にあっては、地産地消の推進に努めること。</li><li>・この工事は、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（平成12年法律第104号）に基づき、分別解体等及び特定建設資材廃棄物の再資源化等の実施が義務付けられた工事である。</li></ul>
当初設計年月	令和7年8月

# 特記仕様書

工 事 番 号 : 令和 7 年度 第 131 号  
 路 線 名 : 市道 幹Ⅱ-34 号線  
 工 事 名 : 河東町八田舗装復旧 工事  
 工 事 箇 所 : 会津若松市河東町八田 地内

- 1 本工事の施工にあたっては、「日本水道協会水道工事標準仕様書【土木工事編】（平成 22 年 3 月 31 日改訂）」及び「福島県土木工事共通仕様書（令和 7 年 1 月 20 日改正）」、設計図面にに基づき実施し、文書中福島県とあるものは会津若松市上下水道局と読み替えるものとする。
- 2 設計図書に基づき監督員が受注者に指示した書面及び受注者が提出し監督員が承諾した書面は、設計図書とする。
- 3 設計変更に係わる業務の円滑化を図るためのツールとして「会津若松市建設工事設計変更等ガイドライン※」を活用すること。※会津若松市ホームページ参照

## 第 1 章 一般共通事項

- 1 「日本水道協会水道工事標準仕様書（土木工事編）」及び「福島県土木工事共通仕様書」に対する特記事項は次のとおりとする。

### 1) 監督員による確認・立会等

監督員による検査及び立会は、共通仕様書によるもののほか下記のとおりとする。

工 種	工事段階	頻 度	摘 要
起工測量	起工測量後	1 工事 1 回	施工延長 縦横断測量 受注者は既設埋設管路等と計画管路を適宜路面に表示し、監督員が立会時に確認する。
資材検査	資材搬入後	各資材 1 回	変更増資材も含む
指定仮設工	設置完了時	1 工事 1 回	使用材料、高さ、幅、長さ深さ、間隔等
管布設工	管布設完了後	200m 1 回	200m 以下の工事については、1 工事 1 回
管継手工	管布設完了後	200m 1 回	200m 以下の工事については、1 工事 1 回 継手チェックシート（上下水道局様式）により検査
水圧試験	布設工事完了後	全線 1 回	試験前、試験後
分水建込工 （給水管）	施工完了まで	1 工事 1 回	密着コア確認・水圧テスト・水質確認
不排水工	施工完了まで	1 工種 1 回	穿孔コア確認・水圧テスト
現場密度	転圧完了後	1000 m <sup>2</sup> 1 回	上層路盤・下層路盤・路床毎の各層 20 m <sup>2</sup> 以下は確認立合を省略できる。
石綿セメント 管の撤去	撤去作業前	1 工事 1 回	立入禁止の措置・石綿ばく露防止対策等の現場 掲示・保護服使用の確認
完了検査	完成日前	1 工事 1 回	水道工事完了調書及び竣工図により、施工延長 等を確認、舗装縦横断測量（現況復旧の確認） 手直しが生じたときは再検査
その他	監督員の指示	必要都度	

- 2) 監督員による確認・立会の結果、不良箇所等が指摘された場合または不合格となった場合、受注者はその箇所を手直しするとともに再度、確認・立会を受けること。なお手直しに係る事前の手続きや費用等については受注者の負担とする。

## 3) 施工管理

施工管理（出来形・品質・写真）は、福島県土木工事共通仕様書及び会津若松市上下水道局水道工事施工管理基準によらなければならない。

## 4) 工程管理

工程管理については、月毎に工事履行報告書を提出し、工事の進捗を把握するものとする。また、計画工程より 10%以上の遅れが確認された場合は、原因の究明と今後の対策について監督員と打合せを行うものとする。

- 2 受注者は当該工事を実施するにあたり、予め地下埋設物確認書において埋設物の有無の確認を行い地下埋設物確認書を提出すること。

## 3 暴力団関係者の排除

会津若松市発注工事等からの暴力団等排除措置要綱を遵守するとともに、本市が発注する業務において排除措置対象者からの資材の購入等、同関係者への下請けの発注及び同対象者が関与する産業廃棄物処理施設の使用を禁止する。

## 4 デジタル工事写真の小黑板情報電子化

本工事でデジタル工事写真の小黑板情報電子化を行う場合は、工事契約後に監督員の承諾を得た上でデジタル工事写真の小黑板情報電子化対象工事とすることができる。

## 第2章 総則

1 関連工事： ☒有・無

工事名	発注元	注意・指示事項
六軒浄水場緩速ろ過池ろ過砂搬入業務	会津若松市上下水道局	工程調整を行うこと。

2 支給材料及び貸与品： 有・☒無

支給材料及び貸与品、またその引き渡し場所等については下記のとおりとする。

支給品目	数量	引渡時期	引渡場所

3 建設副産物処理： ☒有・無

本工事にて発生する建設副産物については下記に示す方法で処理するものとする。ただし、施設は指定するものではない。

建設副産物名	処理方法等	積算上の施設※
アスファルト塊	( <input checked="" type="checkbox"/> 再資源化・中間・最終) 処理施設へ搬入	会津アスコン(株)
コンクリート塊	( <input checked="" type="checkbox"/> 再資源化・中間・最終) 処理施設へ搬入	
建設汚泥	(再資源化・ <input checked="" type="checkbox"/> 中間・最終) 処理施設へ搬入	(株)ミツワ 川田工場

※積算上の施設は積算上の明示条件であり、処理施設を指定するものではない。ここに明示した施設と異なる施設に処理する場合は、監督員の承諾を得ることとするが、設計変更の対象とはしない。なお、受け入れ拒否等により処理施設の条件が異なる場合は、その記録をもって設計協議の対象とする。

## 4 中間検査に関すること

工事の施工過程において適正な契約の履行を確保されているか、工事完成後不可視となる部分の施工精度及び品質管理、施工体制等を検査するために、中間検査を実施する場合があるので、発注者から中間検査を求められた際は、受注者は対応にあたるものとする。

5 工事現場管理： ☒ 有・無

交通誘導警備員は工事箇所に 1 人配置するものとし、のべ 10 人としている。なお、詳細については施工計画書に策定時に監督員と打合せを行うこと。

6 作業工程： ☒ 有・無

1) 本工事は昼間施工とし、時間帯は8:30～17:00までとする。(道路使用許可条件による)

2) 作業工程における注意事項：

定められた時間帯に作業が終了できない場合は、受注者は速やかに監督員に報告し、受注者及び監督員において会津若松警察署と協議するものとする。

3) 現道の使用規制について

現道は、通行止めにより本工事を施工するものとする。

4) 工事を施工しない日 有・☒ 無 令和 年 月 日～令和 年 月 日

工事を施工しない時間帯 有・☒ 無                     :                      ~                      :

「工事を施工しない時間帯」は、

☐ 工期全体 ☐ 上記「工事を施工しない日」 ☐                      に適用する。

7 仮設： ☒ 有・無

1) 指定仮設の有無 有・☒ 無

2) 指定仮設

仮設物名	規格・寸法・構造	資料の有無	備考
		有・無	

8 工事における現場環境改善： 有・☒ 無

1) 当該工事で実施する現場環境改善は、下記の表の内容のうち原則として項目ごと（仮設備関係、営繕関係、安全環境改善、地域連携）に1内容ずつ（いずれか1費目のみ2内容）の合計5つの内容を選択し実施すること。

項目	実施する内容
現場環境改善 （仮設備関係）	1. 用水・電力等の供給設備、2. 緑化・花壇、3. ライトアップ施設、4. 見学路及び椅子の設置、5. 昇降設備の充実、6. 環境負荷の低減
現場環境改善 （営繕関係）	1. 現場事務所の快適化（女性用更衣室の設置を含む）、2. 労働者宿舎の快適化、3. デザインボックス（交通誘導員待機室）、4. 現場休憩所の快適化、5. 健康関連設備及び厚生施設の充実等
安全環境改善 （安全関係）	1. 工事標識・照明等安全施設のイメージアップ（電光式標識等）、2. 盗難防止対策（警報機等）、3. 避暑（熱中症対策）・防寒対策
地域連携	1. 完成予想図、2. 工法説明図、3. 工事工程表、4. デザイン工事看板（各工事PR看板含む）、5. 見学会等の開催（イベント等の実施含む）、6. 見学所（インフォメーションセンター）の設置及び管理運営、7. パンフレット・工法説明ビデオ、8. 地域対策費等（地域行事等の経費を含む）、9. 社会貢献

※積算上の条件明示であるが、当該工事の施工に伴い周辺地域や住民に対する貢献について配慮しイメージアップに努めるものとする。

9 工事名表示板： ☒ 有・無

本工事には県産木材を利用した工事名標識板を 2 基設置すること。

## 第3章 材料

- 1 本工事で使用する切込碎石は再生骨材（RC-40）、アスファルト合材は再生アスファルト合材で計上している。再生骨材・再生アスファルト合材については、運搬距離40kmの範囲までの再資源化施設についてストック量を調査し使用することとする。これにおいても再生材が入手不可能であった場合は、発注者と受注者が協議を行った上で新材を使用することができるとし、設計変更の対象と

する。

- 2 地区から調達する土砂、碎石等及び仮設材等について、安定的な確保を図るために、地区外から調達せざるを得ない場合又は地域内からの購入である場合においても設計価格と乖離がある場合には事前に監督員と協議するものとする。また、購入費用及び輸送費等に要した費用について、証明書類（実際の取引伝票等）を監督員に提出するものとし、その費用について設計変更の対象とする。

#### 第4章 一般施工

- 1 建設発生土の処理： ☒ 有 ・ 無

1) 残土処理（数量： 65.3 m<sup>3</sup>） 積算上の運搬距離： 17.2 km

指定場所の有無： 有 ・ ☒ 無 捨土場所： \_\_\_\_\_ 地内

- 2) 建設発生土の運搬距離については上記のとおりとするが、これにより難しい場合は事前に監督員と協議すること。

#### 2 購入土等

- 1) 購入土等の有無： ☒ 有 ・ 無

2) 購入土等の種類： 購入土（山砂） ・ 岩ズリ ・ その他（粒度調整碎石 0-40）

- 3) 購入土等がある場合は、受注者は施工計画書に購入先を記載して、監督員に提出する。

- 4) 購入土等が 1 工事あたり 1, 0 0 0 m<sup>3</sup> 以上の場合、受注者は、工事で使用する購入土等を現場に搬入する前に、購入先の採取計画に関する認可書の写しを監督員に提出し、監督員の確認を受けなければならない。

- 3 舗装切断作業時に発生する排水の処理： ☒ 有 ・ 無

- 1) 受注者は、舗装切断作業に伴い切断機械から発生する排水については、排水吸引機能を有する切断機械等により回収し、産業廃棄物（汚泥）として処理しなければならない。また、受注者は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき、産業廃棄物の排出事業者（受注者）が産業廃棄物の処理を委託する際、適正処理のために必要な廃棄物情報（成分性状等）を処理業者に提供するものとする。

- 2) 当該排水の処理に関し排水量、処分量に変更が生じた場合、受注者は排水量、処分量（産業廃棄物管理表（マニフェスト））等を取りまとめるうえ監督員と協議を行い設計変更の対象とする。

- 3) 当該排水の処理の運搬に関し、受注者自らが運搬することを想定しているが、これにより難しい場合は、監督員と協議するものとする。

- 4) 受注者は、当該排水が生じない工法（空冷式等）を採用した場合も当該排水と同様に吸引する装置の併用など、粉塵の飛散防止対策を実施するとともに収集した粉塵については、適正な運搬・処理を実施すること。

#### 第5章 1日未満で完了する作業の積算

- 1 「1日未満で完了する作業の積算」（以下「1日未満積算基準」と言う。）は、土木工事積算基準（福島県土木部）による。

- 2 受注者は、1日未満積算基準の対象となる施工パッケージ型積算基準と乖離があった場合に、1日未満積算基準の適用について協議の発議を行うことができる。

- 3 同一作業員の作業が他工種・細別の作業と組合せて1日作業となる場合には、1日未満積算基準は適用しない。

- 4 受注者は、協議に当って1日未満積算基準に該当することを示す書面その他協議に必要な根拠資料（日報、実際の費用がわかる資料等）を監督員に提出すること。実際の費用がわかる資料（見積書、契約書、請求書等）により施工パッケージ型積算基準との乖離が確認できない場合には、1日未満積算基準は適用しない。

5 「時間的制約を受ける公共土木工事の積算」を適用して積算する場合、災害復旧工事等で人工積算する場合、1 日未満積算基準以外の方法によることが適当と判断される場合には、1 日未満積算基準を適用しない。

6 「施工箇所が点在する工事の積算」を適用する場合は 1 日未満積算基準において別箇所として扱う。

## 第 6 章 施工箇所が点在する工事の積算： 有・無

1 本工事は、施工箇所が点在する工事であり、共通仮設費及び現場管理費について標準積算基準と実際にかかる費用に乖離があると考えられるため、対象地区ごとに共通仮設費及び現場管理費を算出する「施工箇所が点在する工事の積算方法」の対象工事である。

2 本工事における共通仮設費の金額は、対象工区ごとに算出した共通仮設費を合計した金額とする。また、現場管理費の金額も同様に対象工区ごとに算出した現場管理費を合計した金額とする。なお、共通仮設費率及び現場管理費率の補正（施工地域、施工時期等）については、対象工区ごとに設定する。

3 諸経費工種については、工事全体で一つ決定し全ての工区において同じ工種を設定する。

## 第 7 章 ~~余裕期間設定工事~~

~~— 本工事は余裕期間設定工事である。 —~~

### ~~1—発注者指定方式~~

~~本工事は余裕期間（〇〇日間）とする。~~

~~— 1) — 着手届の提出~~

~~— 着手届は、着手後速やかに提出するものとする。 —~~

~~— 2) — コリンズ登録~~

~~— 受注時の「コリンズ登録」は、着手後に監督員の確認を受け、着手後、速やかに登録機関に登録申請しなければならない。 —~~

~~3) — 会津若松市元請・下請関係適正化指導要綱関係~~

~~— 施王体制台帳については、会津若松市元請・下請関係適正化指導要綱第 10 に基づき、提出するものとする。 —~~

~~— 4) — その他~~

~~— 余裕期間内は、主任技術者又は監理技術者の配置することを要しない。また、現場に搬入しない資材等の準備を行うことができるが、資材の搬入や仮設物の設置等、工事の着手を行ってはならない。なお、余裕期間中に行う準備は受注者の責任により行うものとする。 —~~

### ~~2—任意着手方式~~

~~受注者は契約締結日から余裕期間（〇〇日間）内に着手日を任意に設定できる。なお、契約の締結時に「余裕期間利用に係る届出書」により、着手日（工事の始期）を通知すること。また、併せて工程表についても提出すること。~~

~~契約締結後に、受注者の準備が整った場合は、協議のうえ、工期に係る契約を変更することにより、工事に着手することができるものとする。~~

~~— 1) — 着手届の提出~~

~~— 着手届は、着手後速やかに提出するものとする。 —~~

~~— 2) — コリンズ登録~~

~~— 受注時の「コリンズ登録」は、着手後に監督員の確認を受け、着手後、速やかに登録機関に登録申請しなければならない。 —~~

~~3) — 会津若松市元請・下請関係適正化指導要綱関係~~

~~— 施王体制台帳については、会津若松市元請・下請関係適正化指導要綱第 10 に基づき、提出するものとする。 —~~

~~— 4) — その他~~

— 余裕期間内は、主任技術者又は監理技術者の配置することを要しない。また、現場に搬入しない資材等の準備を行うことができるが、資材の搬入や仮設物の設置等、工事の着手を行ってはならない。なお、余裕期間中に行う準備は受注者の責任により行うものとする。—

### 3 フレックス方式

受注者は発注者が設定した期限を超えない範囲かつ示した工期までの間で、工事の始期及び終期を任意に設定できる。発注者が設定した期限を超えない範囲かつ施工可能な余裕を持った工期設定とする。なお、契約の締結時に「余裕期間利用に係る届出書」により、着手日（工事の始期）及び完成日（工事の終期）を通知すること。また、併せて工程表についても提出すること。

また、契約締結後に、受注者の準備が整った場合は、協議のうえ、工期に係る契約を変更することにより、工事に着手することができるものとする。

#### 1) 着手届の提出

— 着手届は、着手後速やかに提出するものとする。—

#### 2) コリンズ登録

— 受注時の「コリンズ登録」は、着手後に監督員の確認を受け、着手後、速やかに登録機関に登録申請しなければならない。—

#### 3) 会津若松市元請・下請関係適正化指導要綱関係

— 施工体制台帳については、会津若松市元請・下請関係適正化指導要綱第 10 に基づき、提出するものとする。—

#### 4) その他

工事の始期までの着工猶予期間は、主任技術者又は監理技術者の配置することを要しない。また、現場に搬入しない資材等の準備を行うことができるが、資材の搬入や仮設物の設置等、工事の着手を行ってはならない。なお、余裕期間中に行う準備は受注者の責任により行うものとする。

## 第 8 章 週休 2 日工事 : ☒ 有・無

1 本工事は、『会津若松市週休 2 日工事实施要領』の対象工事（発注者指定型）である。

2 受注者は、実施要領に定める事項について遵守しなければならない。

※当初積算時に「月単位の 4 週 8 休以上」を確保する場合の補正を行っている。

## 第 9 章 建設現場等における遠隔臨場 : ☐ 有・☒ 無

1 本工事は、『会津若松市建設現場等における遠隔臨場に関する試行要領』の対象工事である。

2 受注者は、試行要領に定める事項について遵守しなければならない。ただし、試行対象外工事（無の場合）であっても、工事契約後、遠隔臨場の実施を希望する場合は、受発注協議の上で試行の対象とすることができるものとする。

※協議は、施工計画書提出までに行うこと。

## 第 10 章 建設工事情報共有システム（ASP） : ☒ 有・無

1 本工事は、『会津若松市建設工事情報共有システム実施要領』の対象工事である。

2 受注者は、実施要領に定める事項について遵守しなければならない。

## 第 11 章 熱中症対策に関する現場管理費の補正及び工期の設定 : ☒ 有・無

1 本工事は、『会津若松市発注工事における熱中症対策に関する実施要領』の対象工事である。

2 受注者は、実施要領に定める事項について遵守しなければならない。

3 本工事は、猛暑による作業不能日数を〇日間見込んでいる。

## 第 12 章 水道工事

— 1 IoT 技術を活用した水道工事施工管理対象工事（以下、「IoT 対象工事」という。）—

— IoT 対象工事：発注者指定型・受注者選択型・指定なし

— 1) 発注者指定型については、別紙 1「IoT 技術を活用した水道工事施工管理に係る特記事項」により施工すること。—



- ~~2) 受注者選択型については、工事受注後、受注者の申し出によりIoT対象工事に変更することも可能である。その場合は、契約後速やかに監督員と協議すること。~~
- ~~3) 受注者の申し出によりIoT対象工事と認められた場合の実施に係る費用については、変更契約時に計上するものとする。~~
- ~~4) 受注者の申し出によりIoT対象工事となった場合は、別紙1「IoT技術を活用した水道工事施工管理に係る特記事項」により施工すること。~~

2 管路設計付工事発注方式対象工事 : 有・☒無

- ~~1) 管路設計付工事発注方式対象工事については、別紙2「管路設計付工事発注方式に係る特記事項」により施工すること。~~

3 受注者による仕切弁等操作対象工事 : 有・☒無

- ~~1) 受注者による仕切弁等操作対象工事については、「会津若松市上下水道局発注の水道工事における仕切弁等操作要領」及び別紙3「会津若松市上下水道局仕切弁等操作にかかる特記事項」により施工すること。~~

~~4 水道工事完了調書~~

~~水道工事完了調書は会津若松市水道工事完了調書によらなければならない。受注者は工事完成前に会津若松市水道工事完了調書を監督員に提出し、監督員による確認（完了検査）を受けなければならない。~~

~~5 施工上の指示~~

- ~~1) 本工事における施工時及び工程の指示は次のとおりとする。~~

- ~~ア ダクタイル鋳鉄管の溝切り加工については1種管を使用すること。またダクタイル鋳鉄管の切管切口部には必ず防食加工を施すこと。~~
- ~~イ ステンレス製ボルト及びナットについては、資材の品質確保のためその取扱いについて十分留意すること。~~
- ~~ウ 既設管等の穿孔にあたっては、作業に伴い発生する切粉を回収し適切に処理すること。~~
- ~~エ 管防護砂（山砂）については、良質なものを使用することとし埋め戻しの際は玉石等を取り除き、管や管被覆材、その他付属品に支障を与えないように施工すること。~~
- ~~オ 仮復旧については即日復旧を原則とすること。路面が仮復旧されていない状態（砂利状態）での交通開放は行わないこと。やむを得ない理由により仮復旧が出来ない場合は、受注者は速やかに監督員に報告し交通開放の方法について打合せを行うこと。~~
- ~~カ 受注者は現況舗装の測量調査等を実施し、舗装前に現状復旧が確認できる資料を監督員に提出すること。~~

6 公共基準点 : 有・☒無

本箇所においては公共基準点（基準点No.       ）が設置されていることから会津若松市公共基準点管理保全要綱等に基づき、事前に現地確認するとともにその取扱について十分留意すること。

7 着工前に十分に事前調査を行い、埋設位置を決定すること。発注者が認めた試掘調査以外の事前調査に関する費用については受注者の負担とする。

8 建設工事公衆災害防止対策要綱（建設省経建発1号平成5年1月12日）に基づき、切取り面にその箇所の土質に見合った勾配を保って掘削できる場合を除き掘削の深さが1.5メートルを超える場合には、原則として土留工を施すものとする。

~~9 受注者は工事区間において給水装置工事の申込みがあった場合は工程調整等に努めること。~~

~~10 配管技能者による施工~~

~~配管技能者による施工については次のとおりとする。(下請施工可)~~

- ~~1) 受注者は工事着手前に本工事に係る配管技能者を選任し、監督員の確認を受けなければならない。この場合においては登録証・認定書・修子書等の写しを施工計画書に添付するものとする。なお配管技能者については複数者の選任も可とする。~~
- ~~2) 配管技能者は下記に掲げる者とし主に現場作業において管の芯だし、据付接合、穿孔等に直接従事する者とする。~~
  - ~~ア 不断水分岐工の経験を有する者又は不断水分岐工法に係る講習会等を受講した者。~~
  - ~~イ 公益社団法人日本水道協会に配水管技能者として登録のある者又は日本ダクタイル鉄管協会主催の耐震継手に関する講習会等を受講した者。なお、登録種別は(一般・耐震・大口径)とする。~~
  - ~~ウ 公益財団法人給水装置工事技術振興財団の給水装置工事配管技能者として認定されている者。~~
- ~~3) 受注者は確認を受けた配管技能者以外の者に管の芯だし、据付接合、穿孔等の作業をさせてはならない。~~
- ~~4) やむを得ない理由により配管技能者を変更する場合は、監督員の承諾を受けなければならない。~~

## 11 給水装置工事： 有・無

~~給水装置工事の施工については次のとおりとする。(下請施工可)~~

- ~~1) 受注者は給水装置の新設、改造、修繕又は撤去の工事を行う場合には会津若松市水道事業給水条例第10条第1項の規定に基づき施工しなければならない。~~
- ~~2) 受注者は前号に掲げる工事を行う場合には、会津若松市指定給水装置工事事業者規程第11条第1項の各号に掲げる職務を行う給水装置工事主任技術者を選定し、工事着手前に監督員の確認を受けなければならない。この場合において当該主任技術者の免状等の写しを施工計画書に添付するものとする。~~
- ~~3) 受注者は配水管から分岐して給水管を設ける工事及び給水装置の配水管への取付口から水道メーターまでの工事を施工する場合には、当該配水管その他の地下埋設物に変形、破損その他の異常を生じさせることがないように適切に作業を行うことができる技能を有する者を従事させ、又はその者に当該工事に従事する者を実地に監督させること。~~
- ~~4) 給水管の施工については、設計図書および会津若松市給水装置工事施工基準書により行うこと。~~
- ~~5) 給水管の施工については、事前に所有者の子解を得るものとする。~~
- ~~6) 宅地内の復旧については、現状復旧を原則とする。なお、十分に調査を行うこと。~~
- ~~7) 宅地内の配管および土工については任意施工とするが標準図に示す条件と大きく異なる場合等は協議を行うこと。~~

## 12 工事現場管理

受注者は施工に先立ち事前に関係機関との打合せを行い地元住民に周知した上で、工事に着手すること。また施工中においても関係機関・地元住民との連絡・周知等は密に行い誠意をもって対応すること。

## 13 環境対策

本工事における環境対策については次のとおりとする。

### 1) 共通事項

受注者は会津若松市が定める環境方針に賛同し、工事を施工すること。

### 2) 排出ガス対策型建設機械

ア 工事の施工に使用する建設機械のうち次の建設機械については、排出ガス対策型建設機械の使用を標準とする。ただし、受注者の機械保有状況等により、やむを得ず使用できない場合は、監督員と協議すること。その結果、使用が不可能な場合は設計変更の対象とする。

・バックホウ・転圧機械・敷均機械・発動発電機(ディーゼルエンジン)

イ 受注者は施工計画書の使用する建設機械記入欄に、排出ガス対策型建設機械使用の有無を記入するとともに使用する機械が排出ガス対策型建設機械であることが証明できる資料を添付すること。

ウ 受注者は、工事完成時に排出ガス対策型建設機械による施工が確認できる写真等を提出すること。

## 14 建設発生土・建設副産物関係

## 1) 共通事項

受注者は本工事にて発生する建設発生土や建設副産物を法令の定めるところにより適正に処理しなければならない。またその処理結果については後日報告すること。

2) 石綿セメント管の撤去： 有・無

~~施工の際に石綿セメント管を撤去する場合は、石綿の処理に関する法令を遵守するとともに、厚生労働省発行の「水道用石綿セメント管の撤去作業等における石綿対策の手引き」により作業を行うこと。また石綿の処理に十分な知識及び技能を有し、かつ次の項目のいずれかに該当する労働者を配置し、その労働者の中から作業主任者を選任すること。~~

~~ア 特定化学物質等作業主任者技能講習会修了者（平成 18 年 3 月 31 日までに修了したものに限り。）~~

~~イ 石綿作業主任者技能講習会修了者~~

~~ウ 他の事業場において当該業務に関し、既に特別の教育を受けた者~~

~~エ 昭和 63 年 3 月 30 日付け基発第 200 号通達に基づく石綿除去現場の管理者に対する労働安全教育を受けた者~~

~~オ 労働安全衛生規則第 36 条、石綿障害予防規則第 27 条に基づく特別教育を受けた者~~

## 3) 会津地方振興局長への届出

福島県産業廃棄物処理指導要綱第 14 条に基づき、産業廃棄物の発生量が 100 立方メートル以上見込まれる場合は、産業廃棄物が工事より発生する日の 10 日前までに、土木建築工事実施（変更）届出書（様式 5 号）により、会津地方振興局長に届け出ること。

## 15 工事写真等の提出部数

## 1) 工事写真の提出部数については竣工書類として提出する他に下記のとおり提出するものとする。

ア 契約検査課提出用： 施工前・竣工 1 部

イ 道路管理者提出用： 施工前・竣工、工事経過（各工種の抜粋） 1 部

ウ その他提出用： 施工前・竣工、工事経過（各工種の抜粋） 1 部

なお、提出前に監督員と打合せを行うこと。

## 2) 竣工図の提出部数については竣工書類として提出する他に下記のとおり提出するものとする。

ア 道路管理者提出用： 1 部

イ その他提出用： 1 部

なお、提出前に監督員と打合せを行うこと。

3) 国及び福島県が管理する道路および河川の占用工事の場合は、以下について 1 部提出のこと。

（施工計画書、使用資材承認願、施工管理等の各種試験結果、出来形管理結果、品質管理結果、出来形図）

## 16 保存用竣工図等の提出

将来の水道施設の維持管理に資することを目的として、受注者は竣工検査日から 14 日以内に電子媒体を下記のとおり提出すること。

## 1) 提出内容

## ア 竣工図

図面の種類	位置図・平面図・横断図・管割図（全ての管材寸法を記載）・オフセット図（各種弁栓・止水栓・メーター位置・既設管との接続位置）・その他監督員が指示するもの
ファイル形式	PDF 形式
図面の大きさ	設計図と同様
留意事項	平面図の管路法線は赤で着色かつ太線で記載すること

## イ 工事写真

写真の種類	着手前竣工写真・出来形管理写真（施工状況写真）・その他監督員が指示するもの
写真の画素数	有効画素数は小黒板の文字が判読できることを標準とする。

ファイル形式	PDF 形式
提出（台紙）形式	工事請負契約規程様式による
留意事項	竣工時に提出する工事写真と同様のもの（写真の種類に記載のないものは除く）

#### ウー水道工事完了調書

提出する種類	完了調書・メーター移設同意書・その他監督員が指示するもの
ファイル形式	PDF 形式
留意事項	竣工時に提出する工事完了調書と同様のもの

#### 2) 提出方法

電子媒体（CD-R 又は DVD-R）に記録し、ウィルスチェック後に提出すること。

#### 3) その他

スキャニングデータによる提出は原則不可（メーター移設同意書は除く）とする。なお作成方法等については監督員と打合せを行うこと。また、竣工図を CAD 形式で作成した場合は、竣工図を記録した電子媒体に、CAD ファイルを記録し提出すること。

### 第 13 章 その他

#### 1 地産地消の推進

工事用資材の購入及び調達については、規格・品質等条件を満たすものであれば、地元産品の活用に努めること。また下請工事の発注についても地元業者の活用に努めること。施工計画書の主要材料の項目に、工事用資材の産地（製造地）と購入先を明示すること。

#### 2 請負業者賠償責任保険の加入の義務付け

（本章はすべての工事に該当する）

不測の事故に適切に対応できるよう、請負業者賠償責任保険に加入していること。（契約時に加入していれば可。）その証券の写しを遅滞なく提出すること。なお、工期の延長により保険期間に不足が生じた場合は、必要な更新を行い、それを証する書類（証券等）の写しを監督員に速やかに提出しなければならない。

#### 3 受注者は監督員と連絡を密にし円滑に施工すること。また設計図書と相違する事項また疑義が生じた場合は速やかに監督員と協議すること。

#### 4 会津若松市上下水道局のキャラクター使用の推進

本工事の工事現場等において会津若松市上下水道局のキャラクター「こしえるん」の積極的な活用に努めること。

#### 5 法定外の労災保険の付保

（本章はすべての工事に該当する）

本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。受注者は、法定外の労災保険契約を締結したことを証明する書類（証券等）を提出しなければならない。なお、工期の延長により保険期間に不足が生じた場合は、必要な更新を行い、それを証する書類（証券等）を監督員に速やかに提出しなければならない。

#### 6 異常気象時における現場状況の報告

異常気象時の工事現場における対応については下記のとおりとする。

##### 1) 異常気象時等の対象

①大雨・洪水等の警報発令時（工事現場の当該市町村の気象警報を対象とする）

②震度 5 弱以上の地震時（工事現場の当該市町村の震度 5 弱以上を対象とする）ただし、気象条件及び現場条件等を勘案し、別途監督員から指示がある場合は震度 4 の場合も対象とする。

##### 2) パトロール等の実施及び報告の内容について

① 作業中であれば、作業を中止し、現場内及び周辺の状況把握に努める。

② 休工中であれば、必要に応じ 2 名以上を構成員とする警戒班（巡視員）を出動させて巡回点検

(パトロール)を実施する。

- ③ 天気予報であらかじめ異常気象が予想される場合は、事前に防災監視体制を配備し待機する。
- ④ 危険箇所が発見された場合は、すみやかに危険箇所に立ち入らないよう防護措置を講じ、その旨を標示する。また、現場状況を把握し 2 次災害防止に努める。
- ⑤ 警報が解除され、作業が再開する前には、工事現場の地盤のゆるみ、崩壊、陥没等の危険がないか入念に点検する。
- ⑥ 地震及び津波が発生した後に、作業を再開する前には、建設物、仮設物、資機材、建設機械、電気設備及び地盤、斜面状況等を十分点検する。
- ⑦ 異常の有無にかかわらず、点検結果を監督員（連絡が取れない場合は、係長又は課長）に適宜報告する。報告方法は、電話連絡のうえ必要に応じ任意様式にて報告書を作成すること。

### 3) 報告期限について

#### ①大雨・洪水等の警報発令時

警報発令後 1 時間以内及び降雨等の状況等により適宜。

#### ②震度 5 弱以上の地震時

地震発生後 1 時間以内。（被害等が甚大でパトロールが困難である場合などはこの限りでない）

## 7 再生資源利用計画書

（本章はすべての工事に該当する）

受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令等に基づき再生資源利用計画書を作成し、施工計画書に含め監督員に写しを提出しなければならない。

また、受注者は法令等に基づき再生資源利用計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。

## 8 再生資源利用促進計画書

（本章はすべての工事に該当する）

受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥または建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令等に基づき再生資源利用促進計画書を作成し、施工計画書に含め監督員に写しを提出しなければならない。

また、受注者は法令等に基づき再生資源利用促進計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。

## 9 会津若松市上下水道局水道技術における共同研究等への協力

受注者は本工事の工事現場等において、水道技術に関連する開発、評価、検証及び標準化等を目的とした調査、研究及び試験を実施する場合、共同研究等にできる限り協力すること。

# 総括情報表

頁0-0001

事務所 設計書名 変更回数 事業名 適用単価区分 適用単価地区 単価適用日  諸経費体系 ファイル名	B7 会津若松市上下水道局 実施設計書 当初 00000000131 0  1 実施単価 51 L (会津若松1) 地区 00-07.08.15(0)  1 土木工事 河東八田舗装復旧工事		
	当 世 代		前 世 代
前払率 諸経費工種 冬期歩掛補正 契約保証補正 施工地域補正 現場環境改善費 週休二日補正 施工時期補正率値	40 06 舗装 00 冬期割増なし 01 金銭的保証 06 (土木)一般交通影響有り2 00 必要無し 02 4週8休以上(月単位) 0.56		

## 工種条件

条件	条件値	名称
A 水替費区分	0	水替費なし
	1	水替費あり
B 山林砂防工置き換え区分	0	山林砂防工置き換えなし
	1	山林砂防工置き換えあり
C 時間的制約を受ける場合の労務単価補正	1	時間的制約を受ける(補正1.06)
	2	時間的制約を著しく受ける(補正1.14)
D 夜間工事の場合の労務単価補正	1	20時開始の夜間工事(補正1.5)
	2	19時開始の夜間工事(補正1.437)
	3	18時開始の夜間工事(補正1.375)
E 特殊勤務費[円]		
F 作業日数集計指示	1	作業日数集計無
	2	作業日数集計1
	3	作業日数集計2
	4	作業日数集計3
	5	作業日数集計4
	6	作業日数集計5

# 本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0002

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
本工事費					X1000
舗装復旧工					Y1999
土工費	1	式			Y2999 工種 第0001号表
交通誘導警備員	1	式			Y1999 工種 第0002号表
直接工事費					
安全費		式			Z0008
工事名標示加算額	1	式			Y2999 工種 第0003号表
共通仮設費（率）		式			Z0009
共通仮設費計					
純工事費					
現場管理費		式			
工事原価					

# 本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0003

費目・工種・施工名称など		数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
一般管理費						
			式			
工事価格						
工事価格	(まるめ)					
消費税等相当額						
			式			
工事費計						



# 工 種 明 細 表

頁0-0004

工 種 ・ 施 工 名 称 など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土工費 Y2999					工種 第0001号表
舗装版切断工（傾斜式道路カッター） アスファルト 切断深さ 5 c m以下	8.2	m			T6051 00 070815
舗装版破碎 アスファルト舗装版 障害等なし	1,304.5	m2			SPD311 00 070815 施工 第0 -0001号表
床掘り 土砂 平均施工幅1m以上2m未満	65.3	m3			SPA161 00 070815 施工 第0 -0002号表
上層路盤（車道・路肩部） 粒度調整碎石 全仕上り厚150mm	435.6	m2			SPD009 00 070815 施工 第0 -0003号表
不陸整正 補足材料あり 17mm以上21mm未満	868.8	m2			SPD001 00 070815 施工 第0 -0004号表
表層（車道・路肩部） 3.0m超 平均仕上り厚50mm	1,304.5	m2			SPD023 00 070815 施工 第0 -0005号表
土砂等運搬 標準 バックホ	65.3	m3			SPA105 00 070815 施工 第0 -0006号表
整地 残土受入れ地での処理	65.3	m3			SPA109 00 070815 施工 第0 -0007号表
殻運搬 舗装版破碎 機械積込（騒音対策不要、舗装版厚15cm以下）	65.2	m3			SPA961 00 070815 施工 第0 -0008号表
側溝清掃車運搬 運搬距離 50.4km	0.1	m3			S5200 00 070815 施工 第0 -0009号表
* 調整データ *		調整式			#0040 A=1,B=1,C=7
産廃処分料 AS殻 再資源化	153.3	t			W0000
産廃処分料 切断汚泥 中間処理	0.08	t			W0000
*** 単位当たり ***	1	式			

## 工 種 明 細 表

頁0-0005

[illegible]

# 施工パッケージ内訳表

頁0-0006

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)
舗装版破碎 SPD311 アスファルト舗装版 標準単価： 207.06 機械構成比： 13.49% 労務構成比： 80.49% 材料構成比： 6.02% 市場単価構成比： 0.00%	障害等なし		施工 第0 -0001号表 1	m2
バックホウ [ クローラ・後方超小旋回 ] 賃料 KQ049		13.49%	バックホウ [ クローラ・後方超小旋回 ] 賃料 TPKQ049	
土木一般世話役 R0010 [ 0.775]		28.91%	土木一般世話役 TPR0010	
運転手 ( 特殊 ) R0120 [ 0.778]		27.69%	運転手 ( 特殊 ) TPR0120	
普通作業員 R0030 [ 0.828]		23.89%	普通作業員 TPR0030	
軽油 T0250 ミニローリー ( パトロール給油 )		6.02%	軽油 TPT0250 1 . 2 号 パトロール給油	
*** 単位当たり ***				
A=1 アスファルト舗装版 B=1 障害等なし C=1 騒音振動対策不要 D=1 15cm以下 F=1 積込作業あり				
G=1 全ての費用 H=1 土木工事標準積算基準 - 3 - - 2				

00000000131

会津若松市上下水道局

金抜き

# 施工パッケージ内訳表

頁0-0007

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)
<b>床掘り</b> SPA161 土砂 標準単価： 281.39 機械構成比： 20.36% 労務構成比： 65.67% 材料構成比： 13.97% 市場単価構成比： 0.00%	平均施工幅1m以上2m未満		施工 第0 -0002号表 1 m3	
KQ049 バックホウ [ クローラ・後方超小旋回 ] 賃料		20.36%	TPKQ049 バックホウ [ クローラ・後方超小旋回 ] 賃料	
R0120 運転手 ( 特殊 ) [ 0.778 ]		65.67%	TPR0120 運転手 ( 特殊 )	
T0250 軽油 ミニローリー ( パトロール給油 )		13.97%	TPT0250 軽油 1 . 2 号 パトロール給油	
* * * 単位当たり * * *				
A=1 土砂 B=2 平均施工幅1m以上2m未満 C=1 土留なし D=1 障害なし G=1 土木工事標準積算基準 - 1 - - 4				
* * * * *	* * * * *	* * * * *	* * * * *	* * * * *
<b>上層路盤 ( 車道・路肩部 )</b> SPD009 粒度調整碎石 標準単価： 569.67 機械構成比： 9.88% 労務構成比： 33.13% 材料構成比： 56.99% 市場単価構成比： 0.00%	全仕上り厚150mm		施工 第0 -0003号表 1 m2	
MC219 モータグレーダ [ 土工用 ] 排ガス2次		3.96%	TPMC219 モータグレーダ [ 土工用 ] 排ガス2次	
MC230 ロードローラ [ マカダム ] 排ガス2次		3.13%	TPMC230 ロードローラ [ マカダム ] 排ガス2次	
K2630 タイヤローラ 質量 8 t ~ 2 0 t		1.01%	TPK2630 タイヤローラ賃料	

00000000131

会津若松市上下水道局

金抜き

# 施工パッケージ内訳表

頁0-0008

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
運転手（特殊） [0.778] R0120		15.46%	運転手（特殊） TPR0120	
特殊作業員 [0.769] R0020		5.15%	特殊作業員 TPR0020	
普通作業員 [0.828] R0030		5.03%	普通作業員 TPR0030	
土木一般世話役 [0.775] R0010		1.52%	土木一般世話役 TPR0010	
粒度調整碎石 M - 4 0 4 0 ~ 0 mm T8344		53.57%	再生粒度調整碎石 R M - 4 0 TPT8345	
軽油 ミニローリー（パトロール給油） T0250		2.81%	軽油 1 . 2 号 パトロール給油 TPT0250	
*** 単位当たり ***				
A=2 粒度調整碎石 D=150 全仕上り厚(mm) E=1 1層施工 H=3 粒度調整碎石 M - 4 0 J=1 全ての費用				
K=1 土木工事標準積算基準 - 1 - - 7				

00000000131

会津若松市上下水道局

金抜き

# 施工パッケージ内訳表

頁0-0009

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
<b>不陸整正</b> SPD001 補足材料あり 標準単価： 153.45 機械構成比： 18.76% 労務構成比： 55.87% 材料構成比： 25.37% 市場単価構成比： 0.00%	17mm以上21mm未満		施工 第0 -0004号表 1 m2	
モータグレーダ [ 土工用 ] 排ガス 2 次 MC219		9.16%	モータグレーダ [ 土工用 ] 排ガス 2 次 TPMC219	
ロードローラ [ マカダム ] 排ガス 2 次 MC230		7.25%	ロードローラ [ マカダム ] 排ガス 2 次 TPMC230	
タイヤローラ 質量 8 t ~ 2 0 t K2630		2.35%	タイヤローラ賃料 TPK2630	
運転手 ( 特殊 ) [ 0.778] R0120		35.78%	運転手 ( 特殊 ) TPR0120	
特殊作業員 [ 0.769] R0020		10.43%	特殊作業員 TPR0020	
普通作業員 [ 0.828] R0030		7.78%	普通作業員 TPR0030	
土木一般世話役 [ 0.775] R0010		1.88%	土木一般世話役 TPR0010	
粒度調整碎石 M - 4 0 4 0 ~ 0 mm T8344		18.86%	再生クラッシャラン R C - 4 0 TPT8454	
軽油 ミニローリー ( パトロール給油 ) T0250		6.51%	軽油 1 . 2 号 パトロール給油 TPT0250	
*** 単位当たり ***				

00000000131

会津若松市上下水道局

金抜き

# 施工パッケージ内訳表

頁0-0010

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機劣材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機劣材規格(東京地区)	単価(東京地区)
A=2 補足材料あり B=6 17mm以上21mm未満 D=3 粒度調整砕石 M - 4 0 E=1 全ての費用 F=1 土木工事標準積算基準 - 1 - - 2				
*****	*****	*****	*****	*****
表層 (車道・路肩部) SPD023 3.0m超 標準単価： 1,836 機械構成比： 1.35% 労務構成比： 9.47% 材料構成比： 89.18% 市場単価構成比： 0.00%	平均仕上り厚50mm		施工 第0 -0005号表 1	m2
KQ687 アスファルトフィニッシャ [ ホイール ] 賃料		0.87%	TPKQ687 アスファルトフィニッシャ [ ホイール ] 賃料	
K2630 タイヤローラ 質量 8 t ~ 2 0 t		0.13%	TPK2630 タイヤローラ賃料	
K4030 ロードローラ 質量10~12t 幅2.1m 賃料 マカダム・排出ガス対策型 (第2次基準値)		0.13%	TPKQ510 ロードローラ [ マカダム ] 賃料	
R0030 普通作業員 [ 0.828]		3.39%	TPR0030 普通作業員	
R0120 運転手 (特殊) [ 0.778]		1.94%	TPR0120 運転手 (特殊)	
R0020 特殊作業員 [ 0.769]		1.89%	TPR0020 特殊作業員	
R0010 土木一般世話役 [ 0.775]		0.67%	TPR0010 土木一般世話役	
T8422 再生材アスファルト合材 密粒度 ( 2 0 F ) 最大粒径 2 0 mm		81.56%	TPT8025 アスファルト混合物 密粒度 ( 2 0 )	
T0211 アスファルト乳剤 P K - 3 プライム用、P K - 4 タック用		7.06%	TPT0211 アスファルト乳剤 P K - 3 プライムコート用	

00000000131

会津若松市上下水道局

金抜き

# 施工パッケージ内訳表

頁0-0011

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
軽油 ミニローリー（パトロール給油） T0250		0.47%	軽油 1.2号 パトロール給油 TPT0250	
*** 単位当たり ***				
A=4 3.0m超 B=50 1層当り平均仕上り厚(mm) C=1 2.35t/m3 D=2 プライムコート E=15 再生 密粒度（20F）				
F=1 全ての費用 G=1 土木工事標準積算基準 - 1 - - 2				
*****	*****	*****	*****	*****
土砂等運搬 SPA105 標準 標準単価： 2,663.8 機械構成比： バックホウ	バックホウ 45.59%		施工 第0 -0006号表 1 m3 0.00%	
MA404 ダンプトラック [ オンロード・ディーゼル ]		45.59%	TPMA404 ダンプトラック [ オンロード・ディーゼル ]	
R0130 運転手（一般） [ 0.793 ]		39.52%	TPR0130 運転手（一般）	
軽油 ミニローリー（パトロール給油） T0250		14.89%	軽油 1.2号 パトロール給油 TPT0250	
*** 単位当たり ***				



頁0-0012

代表機材規格(積算地区)		単価(積算地区)	構成比	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)
A=1 B=3 C=1 D=1 E=39	標準 バックホ 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間なし 19.5km以下				
F=1	土木工事標準積算基準 - 1 - - 1 3				
*****					
<b>整地</b> SPA109 残土受け入れ地での処理 標準単価： 123.38      機械構成比： 23.13%    労務構成比： 51.64%    材料構成比： 25.23%    市場単価構成比： 0.00%				施工 第0 -0007号表 1 m3	
	K9203 バックホウ〔クローラ型〕 山積0.8m3(平積0.6m3)		23.13%	TPK9203 バックホウ〔クローラ型〕賃料	
	R0120 運転手(特殊) [0.778]		51.64%	TPR0120 運転手(特殊)	
	T0250 軽油 ミニローリー(パトロール給油)		25.23%	TPT0250 軽油 1.2号 パトロール給油	
*** 単位当たり ***					
A=1 D=1	残土受け入れ地での処理 土木工事標準積算基準 - 1 - - 2 0				

頁0-0013

標準單價：                      機械構成比：                      勞務構成比：                      材料構成比：                      市場單價構成比：

00000000131	会津若松市上下水道局	金抜き
-------------	------------	-----

# 施 工 内 訳 表

頁0-0014

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
<b>側溝清掃車運搬</b> S5200 運搬距離 50.4km	100	m3			施工 第0 -0009号表
普通作業員 [ 0.828]	16.129	人			R0030 100/6.2
側溝清掃車運転 機 - 1 9 ブロワ式 9 . 0 m 3	16.129	日			SK921 100/6.2 施工 第0-0010号表
諸雑費	1	式			#99
*** 合 計 ***	100	m3			
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=50.4 運搬距離 ( km ) C=1 土木工事標準積算基準 - 3 - - 2					
*****	*****	*****	*****	*****	*****
<b>側溝清掃車運転</b> SK921 機 - 1 9 ブロワ式 9 . 0 m 3	1	日			施工 第0 -0010号表
運転手 ( 一般 ) [ 0.793]	1.000	人			R0130
軽油 ミニローリー ( バトロール給油 )	84.000	L			T0250
側溝清掃車 [ ブロワ式 ]	1.000	供用日			MD545
諸雑費	1	式			#99

# 施 工 内 訳 表

頁0-0015

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
*** 単位当たり ***	1	日			
A=1      プロワ式 9.0m <sup>3</sup> B=1      運転労務数量 C=84      燃料消費量 D=1      機械損料数量					
*****	*****	*****	*****	*****	*****
工事名標示板加算額 S9990	1	基			施工 第0 -0011号表
工事名標示板加算額 (木材使用・据付撤去含む)	1.000	基			T9940
*** 単位当たり ***	1	基			
A=1      土木工事標準積算基準    - 2 -    - 2 4					

# 数量計算書

工種・工区名「舗装工」

〔土工〕

上段:当初設計  
下段:変更設計

工 種	規 格 等	単位	設計数量	計 算	計算結果
舗装版切断工	(傾斜式カッター) t=5.0cm	m	8.2	8.16	8.16
舗装版取壊工	BH0.45m3 t=5.0cm	m2	1304.5	1304.45	1304.45
路盤床掘工	BH0.45m3	m3	65.3	435.61*0.15	65.34
上層路盤工	M-40 t=15.0cm	m2	435.6	435.61	435.61
不陸整正工	粒調碎石0~40 t=2.0cm	m2	868.8	1304.45-435.61	868.84
表層工	再生密粒度AS20F t=5.0cm W=3.0m超 プライムコート	m2	1304.5	1304.45	1304.45
【産廃、残土処分】					
残土運搬工	発生土 DT10t BH0.45m3 L=17.2km	m3	65.3	65.34	65.34
残土処理工	整地	m3	65.3	65.34	65.34
産廃運搬工	AS殻 BH0.45m3 L=1.4km DT10t	m3	65.2	1304.45*0.05	65.22
汚水運搬工	切断汚泥 L=50.4km	m3	0.1	8.16/203*1.80*0.85	0.06
産廃処分料	AS殻 再資源化	t	153.3	65.22*2.35	153.26
産廃処分料	切断汚泥 中間処理	t	0.08	0.06*1.40	0.084